

平成22年度 数学Aのシラバス

1 科目名, 単位数, 履修学年, 履修区分, 使用する教科書

| | | | | | |
|---------|-------------------|-----|---|---------|------|
| 科目名 | 数学A | 単位数 | 3 | 履修学年・区分 | 第2学年 |
| 使用する教科書 | 高等学校 新数学A (第一学習社) | | | | |
| 副教材等 | ウィズ 数学A (第一学習社) | | | | |

2 学習目標

集合, 順列, 組合せ, 確率について学習します。どの単元においても, 身の回りで起こる現象と関連づけて学習することで, 数学的な見方・考え方のよさを認識し, それらを積極的に活用していくとよいでしょう。

3 学習方法

大切にしたいのは授業です。授業をしっかり聞いてノートを取り, 授業中の演習の中で理解を深めて欲しいと思います。また, 問題集などでの復習を通して, 理解した内容を定着させましょう。
ぜひ, 苦労して解けたときの喜びを味わってください。

4 学習計画

| 学期 | 学習内容 (単元名) | 学習事項・学習活動 | 評価のポイント |
|------|---------------------|---|--|
| 第1学期 | 1章 場合の数と確率 1. 集合 | <ul style="list-style-type: none"> 集合 集合の要素の個数 | 集合の考え方を身につける。集合の共通部分や和集合を求めたり, それらの要素の個数を求めることができる。 |
| | 2. 順列, 組合せ | <ul style="list-style-type: none"> 和の法則・積の法則 順列 いろいろな順列 | 和の法則・積の法則を理解する。順列の総数を求める公式を理解し, これを用いて具体的な順列の総数を求めたり, 重複順列や円順列を用いて場合の数を求めることができる。 |
| 第2学期 | 2. 順列, 組合せ (続き) | <ul style="list-style-type: none"> 組合せ 二項定理 | 組合せの総数を求める公式を理解し, これを用いて具体的な組合せの総数を求めることができる。二項定理について理解し, 簡単なものについて, 二項定理を用いて展開式を求めることができる。 |
| | 3. 確率 | <ul style="list-style-type: none"> 事象と確率 確率の計算 排反事象の確率 余事象の確率 | 試行, 事象など確率の学習で用いる用語の意味を理解し, 具体的な事例について, これらの用語を用いて説明できる。簡単な事象の確率を求めることができる。排反事象について理解し, 簡単な排反事象の確率を求めることができる。余事象について |
| 第3学期 | 3. 確率 (続き) | <ul style="list-style-type: none"> 独立な試行の確率 | 試行の独立について理解し, 簡単な独立な確率を求めることができる。反復試行について理解し, 簡単な反復試行の確率を求めることができる。期待値の意味を理解し, 簡単な事象の期待値を求めることができる。 |

5 学習評価

評価については, 次の4つのポイントをみます。
 ・1年間に5回行われる定期考査での得点
 ・毎回の授業時間の取り組み姿勢
 ・提出物の状況
 ・出欠席の状況
 授業を大切に, その場その場で理解して次の学習につなげられるようにしましょう。